

誰もが、誰かの、
たからもの。

どんなに時代が変わっても、受け継いでいきたい
それは、人のつながり、あたたかさ

さりげないけど、ほっとかない

互いの顔が見える、人間味あふれる関わりが心地いい

今を見つめ、未来に想いをはせる

そんな心を、ときに優しくつつみ、ときにそっと背中を押す

大切に育んできた“つながる力”は、

自分のサイズで、一生懸命生きる人を応援してくれる

未来への原動力

人が人のたからもの

誰もが誰かの応援団

いいけん、
島根県

親のひとことが
島根へ帰る
きっかけでした。



大人になって
もっと地元が
好きになっていきます

松江市

三島 大輝さん
Taiki Mishima

PROFILE
三島大輝さん 1996年松江市生まれ、母の影響から看護師を目指し大阪の看護専門学校へ進学...



「いいよ戻っただけでいいよ。電話口でお父さんの声を聞いた時三島大輝さんの目は涙が浮かんでいました。」



休日は松江城山公園を散歩したり、ドライブで夕日を見るのがお気に入り。



堀川遊覧が行き交い、松江城のお堀にかかる橋。松江城は大輝さんが、なつさんとプロポーズをした思い出の場所。

交通事故から看護師の道へ
野球少年だった大輝さんが将来を意識したの中学生の頃...

きつかけは父との電話
都会の楽しさを満喫する一方で忙しさに翻弄され精神的に落ち込んだ時期もあった...

自然の近さと都市的な賑わいのちょうどいいバランス、なつさんが感じる島根暮らしたの魅力は大輝さんにとっても代えがたいものだといえます。

「妻に島根を案内しながら、僕自身が島根の良さに改めて気づいたんです。六道湖の夕日がきれいなこと、街には川が流れていて...

島の子たちが人生に迷った時に
帰ってくる場所になれたら最高です

彼の夢が、自分の夢にも
つながっているんです

隠岐の島町

森口 祐太郎さん
森口 香さん
Yutaro Moriguchi & Kaori Moriguchi

PROFILE
森口祐太郎さん 1986年隠岐の島町生まれ、隠岐水産高校を卒業し18歳で上京...



「仕事が終わって部屋を片付ける余裕がなく、切れた電球を替える気力さえ湧かないんです。ちやちやに散らかった暗い部屋で...

「仕事が終わって部屋を片付ける余裕がなく、切れた電球を替える気力さえ湧かないんです。ちやちやに散らかった暗い部屋で...

「島の方々が応援してくれているのを感じます。島店の物件探しも近所の人の紹介です。」「お店の実現に向けては、彼が友達の紹介をうけて3ヶ月で結婚、30代で子どもを授けました。」

「たしかに、帰ってきて気持ちに余裕ができました。環境の違いは大きいですが、島根は人の温かさも感じます。」「近所の人と世間話をしたり、知らない人でも挨拶したり、田舎のよさですね。遊びに出れば、広島でも関西でもすぐ行けますし、都会はときどき行くくらいがちょうどいいかなって今は思います。」

故郷のつながりは
落ち着きますね
帰ってきて気持ちに
余裕ができました

江津市

杉原 流星さん
Ryusui Sugihara



大輝さんが働くのは消化器内科センター。患者さんの状態観察や身の回りのお世話、内視鏡治療の介助などを担当。

「大阪に送り出したとき、いずれは帰ってきてほしいと思っていました。このタイミングだったのは良かったと感じています。物事の進むスピードが速い都会で経験を積んで、今は松江で自信を持って仕事ができているんじゃないかな。たまたまなくなった仕事かと思いますが、これからは見守ってほしいし、2人には自然体で過ごしてもらえればいいなと思いますね。」

「たしかに、帰ってきて気持ちに余裕ができました。環境の違いは大きいですが、島根は人の温かさも感じます。」「近所の人と世間話をしたり、知らない人でも挨拶したり、田舎のよさですね。遊びに出れば、広島でも関西でもすぐ行けますし、都会はときどき行くくらいがちょうどいいかなって今は思います。」



実際にあるカリフォルニアの学校から着想を得た内装。香さんのディレクションによる空間づくりも評判の理由。

「なにもない田舎が嫌で、都会に行きたかったんです。島の外にしかないアメリカンパーカー屋やビザ屋に強烈に憧れがありました。東京時代はバンドをやりながら飲食店で働きました。」「ハンバーカー屋に勤めたり大阪で兄貴のラーメン屋を手伝ったり。いかに自分の店を持たいとは思っていましたが、地元は帰るイメージはなかったですね。」

「僕が東京で働いていた時、休職中になつさんが帰ってきたんです。浮かぶのは放課後の店の飲食店に友達が集まって喋っていた時間です。退屈だと思っていた地元ですけど、その店で過した時間は間違いなく最高の思い出です。」「その時で、地元を叶えることを考えはじめたのは、(祐太郎さん) そうして20代半ばで隠岐の島町へ戻った祐太郎さん。夢の実現に向けては、彼が友達の紹介をうけて3ヶ月で結婚、30代で子どもを授けました。」

「島の方々が応援してくれているのを感じます。島店の物件探しも近所の人の紹介です。」「お店の実現に向けては、彼が友達の紹介をうけて3ヶ月で結婚、30代で子どもを授けました。」

「僕が東京で働いていた時、休職中になつさんが帰ってきたんです。浮かぶのは放課後の店の飲食店に友達が集まって喋っていた時間です。退屈だと思っていた地元ですけど、その店で過した時間は間違いなく最高の思い出です。」「その時で、地元を叶えることを考えはじめたのは、(祐太郎さん) そうして20代半ばで隠岐の島町へ戻った祐太郎さん。夢の実現に向けては、彼が友達の紹介をうけて3ヶ月で結婚、30代で子どもを授けました。」

「たしかに、帰ってきて気持ちに余裕ができました。環境の違いは大きいですが、島根は人の温かさも感じます。」「近所の人と世間話をしたり、知らない人でも挨拶したり、田舎のよさですね。遊びに出れば、広島でも関西でもすぐ行けますし、都会はときどき行くくらいがちょうどいいかなって今は思います。」

「たしかに、帰ってきて気持ちに余裕ができました。環境の違いは大きいですが、島根は人の温かさも感じます。」「近所の人と世間話をしたり、知らない人でも挨拶したり、田舎のよさですね。遊びに出れば、広島でも関西でもすぐ行けますし、都会はときどき行くくらいがちょうどいいかなって今は思います。」

「たしかに、帰ってきて気持ちに余裕ができました。環境の違いは大きいですが、島根は人の温かさも感じます。」「近所の人と世間話をしたり、知らない人でも挨拶したり、田舎のよさですね。遊びに出れば、広島でも関西でもすぐ行けますし、都会はときどき行くくらいがちょうどいいかなって今は思います。」

いいけん、誰もが、誰かの、島根県 ためもの。
■この紙面のお問い合わせ先/島根県政策企画局広報課 TEL:0852-22-5757 島根県地域振興部しまね暮らし推進課 TEL:0852-22-5068

公益財団法人 ふるさと島根定住財団
しまね移住情報ポータルサイト
くらしまねっと
島根県のお仕事・住まい探しや移住支援制度、各種イベント情報など、Uターン・Iターンしたい皆さんに役立つ情報を紹介するポータルサイト

しまね移住フェア &
しまね暮らしマルシェ in東京
島根こたわりのあれこれを集めた1日限りのビッグイベント。
2024年10月19日(土)
会場：東京国際フォーラム ホールE2

しまね企業EXPO
島根県内企業の担当者の声を直接聞くことができる対面イベント！
大阪
2024年11月23日(土)
会場：AP大阪茶屋町D+E+F+Gルーム
東京
2025年1月25日(土)
会場：AP渋谷道玄坂A+B+C+Dルーム

しまねサブリプロジェクト
しまねが足りない友達 (県外で暮らす島根県出身者)に、しまねを贈ろう！
しまね登録(学生・青年層・Uターン・Iターン)
県内の就職情報、地域・移住情報などをお手元！あなたにぴったりの情報をLINEでもお届けします！

就職支援
jobcafe
学生・若年層を中心とした県内就職支援
地域づくり
活力と魅力ある地域づくりの促進

誰もが、誰かの、
たからもの。

どんなに時代が変わっても、受け継いでいきたい
それは、人のつながり、あたたかさ

さりげないけど、ほっとかない

互いの顔が見える、人間味あふれる関わりが心地いい

今を見つめ、未来に想いをほせる

そんな心を、ときに優しくつつみ、ときにそっと背中を押す

大切に育んできた、つながる力。は、

自分のサイズで、「生懸命生きる人」を応援してくれる

未来への原動力

人が人のたからもの

誰もが誰かの応援団

いいけん、
島根県

親のひとことが

島根へ帰る

きっかけでした。



